

# 『 褥瘡・スキントアの予防とケア研修 』

## 研修会実施報告

日時 : 令和4年10月6日(木) 8:30~12:30  
対象者 : ラダーIIを目指す者・地域支援対象研修  
参加者数 : 対象者32名 地域医療従事者10名  
目標 : 褥瘡とスキントアの発生のメカニズムを理解し、予防方法と発生時のケアの方法を習得する

### <講師の紹介>

大和高田市立病院  
皮膚・排泄ケア特定認定看護師

H 係長



### <内容>



今回の褥瘡・スキントア研修では、地域医療従事者の方にも参加頂き、褥瘡の好発部位、適切なポジショニング、医療関連機器圧迫創傷、DESING-R、スキントアの要因と予防について教えて頂きました。

褥瘡やスキントアの発生要因は多岐にわたるため、基準に沿って正しく評価し、適切なアセスメントを行うことが大切と学びました。また定期的に評価と修正を行うことが、個々に応じたケアや処置の提供に繋がることを再認識することができました。

高齢の患者さんだけでなく、透析治療や抗がん剤治療を受けておられる方、抗凝固剤を内服されている

の方に、皮膚障害が生じやすくなる為、病院スタッフだけでなく、地域の医療従事者と連携し、予防やケアをしていく必要があると学びました。参加者からは、「DESING-Rを活用し、適切にアセスメントや評価を行い伝えていきたい」「褥瘡のケア方法だけを伝えるのではなく、適切なポジショニングの方法を伝達し、皮膚トラブルの改善に繋がりたい」という意見がありました。

地域の医療従者と同じ視点で褥瘡管理ができるよう、情報を共有しながら褥瘡・スキントアの予防とケアに活かして頂きたいと思います。